

富山県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

- 富山県の公立高校入試（全日制）は、推薦選抜と一般選抜の2回あります。

	出願期間	入試日	合格発表日
推薦選抜	1/30(金)～2/3(火)	2/9(月)	2/12(木)
一般選抜	2/19(木)～24(火)	3/5(木)・6(金)	3/13(金)

- 出願は、原則1校1学科（1コース）に限ります。
通学区はありません。
全ての学科等で居住地にかかわらず全ての県立高校に出願できます。

推薦選抜

- 普通科に設置されている各コース、専門学科及び総合学科で実施します。
当該学校・学科・コースに対し、志望する動機が明白であり目的意識を有している、興味・関心があり適性を有している、各教科・科目の履修に必要な学力を有し人物が優れている受検者を対象とします。

- また、次の4つの条件のいずれかを満たすことが必要です。
- ・調査書の「学習の記録」が優良である
 - ・専門に関する優れた能力又は実績がある
 - ・芸術・文化・体育のいずれかの分野において優れた能力又は実績がある
 - ・生徒会活動・社会奉仕活動等学校内外における自発的な活動に継続して積極的に取り組んだ実績がある

- 募集人員は教育委員会と協議の上、下記の範囲内で各学校により決定されます。

- ・普通科に設置されている各コース…学級定員の50%以内（呉羽高校・音楽コース、富山北部高校・体育コースは60%以内）
- ・専門学科（国際科及び国際交流科を除く）…募集定員の50%以内
- ・国際科及び国際交流科…募集定員の40%以内
- ・総合学科…募集定員の40%以内

ただし、募集人員が上記範囲の上限に達していない場合は、募集人員に「程度」と表記される場合もあります。

●選抜

- ・面接を実施、その他、必要に応じて作文・専門に関する実技検査等を実施することができる。

- 調査書・推薦書等の書類、面接等の結果を総合的に判断し合格内定者を決定します。

一般選抜

●工業又は商業に関する学科を志望する場合は、同一校それぞれの学科内に限り、第2順位まで志願することができます。なお、第2順位を志願する場合は、2つ以上にわたることが可能です。

また、特定の学校・学科に限り、第2順位までの志願を認めている場合があります。各学校の規定がありますので、事前に確認しておきましょう。

●選抜方法

調査書等の資料・学力検査の成績等に基づいて、該当学科の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して選抜されます。

①学力検査…国語・社会・数学・理科・英語（各50分・各40点）

※ただし、英語は10分程度の聞き取りテスト+40分の筆記

②調査書…評定は次の方法により150点満点で算出します

・2年次の各教科 9科×5段階=45点満点

・3年次の各教科2倍 9科×5段階×2=90点満点

・特別活動等、学習の記録以外の記載事項を換算 15点満点

※各学校の裁量で、専門学科・普通科コースの特色に応じて、学力検査・調査書の教科の配点の比重を変えることがあります

③その他…各学校の裁量により、面接、専門に関する実技検査等を実施し、選抜の資料に加えることができる。

選抜に当たっては、「学習の記録」の評定及び「特別活動」の評価を除く調査書中の他の記録についても審査します。また、調査書評定点と学力検査の成績とを対比し、同等に扱い判定することを原則とします。ただし、調査書評定点または学力検査の成績が、一般選抜の募集定員の上位10%以内にある場合は、どちらかの成績の一方により判定することができます。

選抜は第1順位志望を尊重しますが、その学科における総合判定による順位の下位者よりも優れていると判定された第2順位志願者が合格する場合もあります。

全日制課程の 入学者選抜 (2026年度入学生)	一般選抜			推薦選抜		
	傾斜配点	面接	実技検査	面接	作文	実技検査
実施校数(34校)	2校	1校	2校	27校	26校	4校
実施学科数(82学科)	2学科	3学科	2学科	62学科	61学科	6学科

※各校の具体的な実施内容は事前に発表される「学校別入学者選抜実施概要一覧」で確認しましょう

追検査

●学力検査の第1日目、第2日目の両日の全日程または第2日の全日程を欠席した者の中、インフルエンザ罹患等により別室における受検も困難な者、やむを得ない理由のある者に限り、追検査を受けることが可能です。

追検査の受検希望者はその旨を欠席した当日の正午までに連絡、欠席理由を証明する書類を添えた追検査受検申請書を指定の日時までに提出する必要があります。

●選抜資料や選抜方法は本試験の内容と同じです。